

舞台 **ねこはしる** <アートインAsbira>
内気で有名な黒ねこのランはひとりぼっちの池の魚と友達になりました。工藤直子さんの長編詩物語をオカリナとストリングスの生演奏にのせて3人の俳優が語り語り魅せる感動の舞台です。
10月28日(金)19:00~
国際交流会館多目的ホール...ふくい子ども劇場

人形劇 **ちいちいにんにん** <人形劇団のはな>
小さい子どもたちのための小さい人形劇。かばのかつちゃん、いたいのいたいのとんでいけ、むしやむしやくん、わたしのおじいちゃん、くねくね
11月20日(日)①11:00~②14:00~
福井県社会福祉センター第1・2研修室...ふくい子ども劇場

人形劇 **おむすびころりん** <人形劇団はなつ>
昔話「おむすびころりん」を「さんびきのこぶた」
10月29日(土)10:30~
会場 アイアイ鯖江 2階和室
チケット:500円(4才以上)
問合せ...鯖江子ども劇場

掲示板 子どもNPOセンター Information Clip

理事長講演会
子どもたちの未来にむけて私たちができることは... 子どもNPOセンターの理事長・清水雅美の講演です。PTAの講演会、子ども会、育成会の研修などにいかがですか? お気軽にお問い合わせください。
講演予定
10月13日 福井市清水支所
10月14日 勝山市福祉健康センターすこやか
11月5日 若狭町中央公民館
11月10日 福井市中央公民館

Whats トントントン
子どもたちに表現の楽しさを、朗読劇の世界を...「Whats トントントン」が皆さんの地域に届けます。
10月15日 南越前町河野保育園
11月16日 福井市清水南小学校
12月13日 福井市旭公民館

舞台 **おばあちゃん劇場** <冒険家>
ようこそ!
わたしやおばあちゃんにやりたいなあ!ハッチちゃんの言葉!おばあちゃんをびっくり!おばあちゃんの顔は夢を持ってないハッチちゃんの心に届くのかな?
11月23日(祝)14:00~
会場 JAテラル越前中支店
チケット 大人 1,200円(当日1,500円) 子ども 1,000円(1,200円) 親子 1,800円(2,200円)
問合せ...福山子ども劇場

子どもNPOセンターの支援会員を募集しています。

子どもたちの文化を豊かに育むこと、思いっきり子ども時代を過ごせること、そんな子どもたちひとりひとりの個性の輝きを応援するサポーターを募集しています。

賛助会員	子どもNPOセンターの目的に賛同し活動を支援する会員
●個人会員費	一口年額 5,000円
●団体(法人)会員	一口年額 10,000円
ボランティア会員	子どもNPOセンターの目的に賛同し、活動にボランティアとして協力または参加する個人
●一口年額	1,000円
ワンコインサポーター	ふくいチャイルドラインの支援基金
入会方法	郵便振替の通信欄に住所・氏名・電話番号・会員の種類と口数を記入してお振込みください。
	●郵便振替 00770-1-45546 福井県子どもNPOセンター

福井県子どもNPOセンターを支援しています。

- | | |
|----------------|---------------|
| (有)イタクラ | 人形芝居 燕屋 |
| オーイ工務科 | ネットヨタ福井株式会社 |
| 大久保リースホームビル(株) | 野尻内科胃腸科医院 |
| 大月産婦人科クリニック | half time |
| 上屋敷工業株式会社 | バルーンショップdaiwa |
| 斉藤事務機株式会社 | (有)光タクシー |
| さかい動物病院 | 福井キヤノン事務機株式会社 |
| 仁愛学園 | 福井県映画センター |
| スクエアパーク | 三井皮膚科医院 |
| 造家屋 | 山内整形外科 |
| Diabranz | ヤマシタカメラバリオ店 |
| つちだ小児科 | |
- ※未来への支援は常時募集しています!

子どもと文化の素敵な出会いをプロデュースします。

たとえば「学校で子どもたちに芸術鑑賞を...」「イベントで楽しい遊びを...」「親子の集いやPTA行事に何か...」さまざまなニーズに応じた企画を紹介しています。お気軽にお問い合わせください。
※日程と希望作品の調整のため半年前にはご連絡ください。

I am OK!

猛暑の後は猛烈台風、季節の変わり目に余韻がないが、コンクリートだらけの街なかでも外はひとりでに秋に向かい、草木は冬への支度を始めている。枯葉や砂を巻き上げる風、いつのまにか熟した木の葉、物悲しい夕焼け...外で遊ぶことが子ども達にどんなに多くのものをもたらすかは、自由の外で遊べた世代の大人達はわかっているはず。
"安心安全"のために、子ども達が自由気ままに遊びにくい今の環境を、私達大人は真剣に考えなければいけない。(自然に恵まれた福井人)

子どもChannel 次号は2012年1月末頃発行予定!

●子どもと共に生きるまちをつくらう③
エンジョイ木田Kids⑥、拠点事業報告
放課後子どもプランにおける新たなプログラム開発事業進行中 他



※記事・情報に関するお問い合わせは、福井県子どもNPOセンターまで
特定非営利活動法人
福井県子どもNPOセンター
〒918-8106 福井市木田町36-1 コーポ木田201号 TEL:0776-97-8460 FAX:0776-97-8461
E-mail: childnpo@muse.ocn.ne.jp URL: http://childnpo.s-ric.jp/

※子どもChannel企画・編集:福井県子どもNPOセンター / デザイン:Diabranz(明珍博子デザイン室)

「今」生きる子どもたちと、かつて子どもだった大人たちをつなぐ情報誌
かつて子どもだった大人たちをつなぐ情報誌

子どもChannel 43

2011年10月5日発行(年4回発行) 通巻第43号

●「今」生きる子どもたちと、かつて子どもだった大人たちをつなぐ情報誌

みる きく あそぶ かんがえる
子どもChannel
発行:特定非営利活動法人福井県子どもNPOセンター
URL: http://childnpo.s-ric.jp/ **43** 2011号

特集 子どもと共に生きるまちをつくらう②



自分探しの時間

大人も子どもも自分の人生は自身でしっかり立て、自分らしい花を咲かせたい。そう強く願って来ました。それは私自身がやってみたいと思うことや好きなことを仕事につなげてくれたこと、その仕事を通して出会った阪神淡路大震災を経験した若者たちの、「明日どうなるかわからない、そんな経験をしました。だから本当にやりたいことを今やっていきたいんです」という言葉が大きなきっかけになっていました。

そして2011年初夏、未曾有の大震災の衝撃が襲った中、中学生7名とスタッフ3名で自分探しの講座はスタートしました。部活や試験の合間の貴重な休日を割いて「参加する」ことを選択してくれた子どもたちには本当に感謝です。

講座全3回の目標は「今の自分を感じる」こと、3回終わったときより少し自分が好きになっていること。ルールはただひとつ「自分も相手も大事にすること。参加した人の人にとっても安心して安全な場になるよう、評価することや判断することは、この講座の中では横においておく。大人も中学生もひとりの人としてお互い

当然、もちろん夢を見たい。いんだよ。」そう伝えると、「そっかー。」子ども達からホッとしたような安心したようなつぶやきか聞こえてきました。

自分のルーツも探していきま。幼い頃憧れたヒーロー。好きだったテレビや本。小学校の頃得意だったこと、苦手だったこと。嬉しかったこと。中学生の今夢中になれること、苦痛なこと、不安なこと。夢や希望なども書き出していきま。忘れていたこと。以前は夢中になっていたけれど今はそうでもないこと。振り返ると色々なことを思い出して無心に書き込んでいます。それは過去の私が今の私をつくらってきたこと、今の自分が未来の自分をつくらっていくことを確認する時間でもありました。では3年後、私はどうなっている? どうなっていたい? と想像してみました。10年後は想像できないけれど、3年後なら少し思い描けたように思います。

2回目・3回目の講座は、「自分マップづくり」を中心にゆったり時間をとって柔軟に進めました。自分マップとは、興味や関心があることや好きなこと(自然が好き、動物が好き、人の役に立ちたい、ものづくりをしたい)と、そこから広がっていく仕事の種類や場所(アーティスト・先生・病院・学校・牧場などが書かれているカードを切り取り、自分なりの思いで画用紙に貼りつけて作品にしていけるものです。出来上がったマップを手に熱く自分の思いを語りたい子どもも、今はまだそっと自分の中に入れておきたい子どももOK。大切なのは自分自身を感じるということ。でも、それまでおとなしくあまり話すことがなかった子が、本当に嬉しそうに好きなことを語ってくれたとき、周りの大人の常識? アドバイスで自分の夢を仕舞い込んでいたという子が、やっぱりこれ自分の夢だと話してくれたときには、その場にいた大人はほんとうにうれしくなりました。

評価され比較されるばかりでなかなか自分を出すことができない環境にいる中学生の子どもたち。最初は小さい声で自信なさそうに話していた子が、やがてポツリポツリと自分を語ってくれるようになり、最後のコメントではしっかりと自分の言葉で思いを伝えてくれたそのとき、私もスタッフも思わず涙する場面がありました。それはこの講座が自分も相手も大切に尊重する時間になったことの証でもあったと思います。

不安や迷いはあって当然。失敗や挫折があるから未来へつなぐ。夢をもつことをあきらめないで、そんな思いを受けとってもらえる時間になったこと、ひとり一人が「今」の自分を優しく見つめ感じて受けとめていく時間になったこと、その場に立ち会えたことは本当にうれしかったです。Nobody can live your life.

(エデュケーションalキャリアカウンセラー 山田裕美)

今こそ、子どもたちのまわりにいるあなたに聴いてほしい。

講演会



参加者募集!

「子どもの心に寄り添って」



とき 10月19日(水)午前10時~12時
 ところ 福井市民福祉会館3F 301・302
 講師 小林純子氏(MIYAGI子どもネットワーク前代表理事)

参加費無料

仙台市の指定管理者として4児童館を運営しているMIYAGI子どもネットワーク。講師の小林純子さんは、立ち上げ以来12年間この代表を務めてこられました。専門性のあるNPOが児童館を運営する意味とは? 児童館を運営して見えてきた今の子どもたちの姿とは? 子どもや保護者に今必要な支援とは? 「震災経験を心の傷として子どもたちに残したくない。できることは全てやりたい。」そう語る小林さん。子どものまわりにいる皆さん、ぜひ講演会にいらしてください。

エンジョイ木田Kids6

やった! おばけやしきだ!

児童クラブの夏休み、長時間過ごすからこぞできることがある。みんながやるからできることがある。この夏のわくわく活動を紹介しします。

夏 休みに入ってすぐに行った川遊びはあいにくの盛り。ただで大野の大自然の中、そんなこと関係なく泳ぐ子や魚を取っている子、岩の上から水の中に飛び込み、はじめは怖がっていたけれど最後にはがんばって泳いだ子。みんな楽しそうでした。(でも、ちよつと水の中は寒かったね)そして、寒くて川に入らなかつた子どもたちは探検へ。細い道を通って、なぜか畑にあるマネキの首を見つけ悲鳴をあげたり、届きそうでも届かない場所にいる蟬を取ろうとしたり、水はどこから流れてきているのか追いかけたり、自然の中で遊ぶ子どもたちはなんでもかきさらして見えました。

冬 しておばけやしき!自分たちで企画制作して当日はおばけ役にも挑戦しました。どんなおばけやしきを作りたいか班で話し合い、大人のカモ借りながら作っていました。カンや意見の衝突もありましたが、おばけやしき当日はやる気満々/ミイラになって棺おけから出てきたり、わら人形を釘で打ちつけたり、天井からぶら下げたおばけを動かしたり、「えーおばけやしきしたくない!」と言っていた子どもたちもお客さんが怖がってくれたり喜んでる姿を見るとうれしかった様子。「児童館の子が怖いって泣いてた!」とか「もう一回入りたいて言ってた!」と楽しそうに話をしてくれていました。



夏 夏休みが終わり、少し秋らしくなってきました。学校も始まり、子どもはいつもの生活に戻っています。児童クラブでは、これからも日常の生活の中で子どもたちがわくわくできるような機会を作っていけたらと思います。子どもたちに竹かんわりのひとりの大人として、子どもたちを見守り支えていきたいと思ひます。

(木田児童クラブ指導員 上田良子)

緑の島と銀の島



木田ドラマキッズ

心や体をほぐすワークショップを重ね、中盤を迎えたドラマキッズはいよいよお芝居づくり...「緑の島」と「銀の島」。みんなイメージを出し合った後、2つのグループに分かれそれぞれの島の地図を描く。緑の森があつて川が流れて「動物たちも住んでるよ」「自給自足の生活だ」銀「大きな工場があつてたくさんの方が一生懸命働いてるよ」「お金持ちの島だ」お互いに刺激合せて島のイメージがどんどん膨らんでいく。ひとりひとりの発想が生かされるこれからのストーリー展開が楽しみだ。 つづく...

これまで官が主導してきた公共から NPOをはじめとする民による「新しい公共」へ



子どもにやらせるのではなく子どもから引き出すプログラムだね。
 子ども時代に遊んでいない大人が子どもを育てている。
 選択する、達成感をもつ、それが子どもの力になる。
 自己肯定感を持つ...大事ですね。

09年鳩山由紀夫首相が所信表明演説で注目を集めた「新しい公共」。すべての方が社会との接点をも居場所と出番のある新しい共同体のあり方を考える、NPO等の活性化と協働の推進が柱となっている。昨年10月には補正予算が成立、全部道府県に按分、事業費が交付されることになる。福井県は男女共同参画・泉民活動課が窓口となり6月に説明会を開催、多くのNPO、市民活動団体が参加した。7月中旬には申請締切と団体にとっては慌しい動きでもあった。子どもNPOセンターは新しい公共事業のひとつである「新しい公共の場づくりモデル事業」に申請し審査を経て8月下旬に採択された。(泉民活動センターHPに採択事業が公開されている)「放課後子どもプランにおける新



ファシリテーター養成講座を開催しました。

7月23日(土) ユー・アイふくい
 アイスブレイクに始まり、和室の和やかな雰囲気の中、午前中は講義、午後は実践を交えてファシリテーションのコツを学びました。実践では、「無難に任期を終えたい区長」「自己主張の強いリーダー的男性」などの役割が振られ、まるで本番さながら。ファシリテーター役も苦労されていました。それだけに、振り返りでは難しさと面白さ、深さがまた浮き上がり、とても密度の濃い、楽しい時間でした。(古石隆子)

9月は場所が県立大学と福井市内から離れたこともあり、参加者がやや少なくなりました。直前まで同大学の別教室で講義をされていた吉弘洋一先生を講師にお迎えし、カウセリングを行う心の準備と「うへき」をしようをしっかりとチャットしていただきました。演習というところで、アドラーやジャズなどの難しい理論を実際の電話に乗せてわかりやすく解説していただき、こちらも非常に好評でした。
 平日夜の研修には難しい部分もありますが、参加して下さる皆さんの熱意で大変盛り上がり、またまだこれらの研修にも興味がある方が複数参加されているのは心強い限りです。ラインは続くよん! (主催 藤原万由)

うじうじの家族を楽しもう!
 35 US
 氏家靖浩 (東北文化学園大学)



東日本大震災に際しては、いろいろと心配をおかけし、お気遣いを頂戴しましたこと、心より御礼申し上げます。少しずつではありますが、復興しつつあると思ひます。長い道のりになるのですが、そもそも私の家は、いまだに水道が不完全です。下水道関係は、仙台市全体で不具合があります。私の家はさらに壊れたところが激しいので修理待ちです。使えないので、そのぶん水道料金は、いくらか安くなっているかもしれませんが...

さて、春から子どもたちの生活環境が大きく変わりました。地震の影響ではなく年齢相応の変化です。娘は高校生になりました。徒歩・電車・徒歩で1時間くらいかけて仙台市内を横切って通学しています。その娘が、不思議なことをしていることに気づきました。家の近くの駅で電車を下車してから、友達と友達の家の前まで一緒に歩き、あとはひとりで帰宅するらしいのですが、実はたつぷりと駅ひとつ分を逆戻りしているらしいのです。だったらひとつ手前で下車してよ、という感じです。

その娘の高校では、授業参観があるので家族全員で行きました。娘の受けている授業は難しく、つまらなそうだったので、息子と校内の探検に出かけました。なんか小さなおじさんが親切にしていると案内してくれて、最後は職員室で息子と私でお茶までごちそうになりました(娘は授業中、母親はその観察中)。

あとで娘に「あの小さなおじさん誰?」と尋ねたら「校長だよ」と教えてくれました。私はモンスターペアレント?

他団体紹介
 フリースペース“いっぽ” 就労支援センター“すてっぷ”

昨年、誰でも気軽に集まれる場所として開所したフリースペース“いっぽ”は子ども達がやりたい事や好きな事ができる居場所です。初めてのダイビングを楽しみ、ウミガメ観察会では産卵と孵化を観る事ができました。自然の中で子どもらしさを引き出せるきっかけになればと思っています。また今年、それぞれに悩みを抱えた人達の就労支援の場として就労支援センター“すてっぷ”を開所しました。すてっぷでは、自分達で収穫した梅で梅干し、梅酒を作りましたがなかなかの評判です。他に農業、木工製品作成、室内軽作業などしています。まず出せる事から始めています。今夏、越前市サマーフェスティバルに参加し、すてっぷの製品を販売しました。その中にはいっぽの子ども達が作ったクッキーと紅茶セットと一緒に販売し、次はこうしたらもっと売れるようになると喜んでもらえる事を初めての販売体験で感じた事は、大きないっぽだと思います。今後も、子ども達や悩みを抱える人たちにそれに合った段階的な支援を、いっぽとすてっぷで行っていきけるよう進めていきたいと思います。

●NPO法人えちぜん青少年自立援助センター 越前市豊町3-3 TEL&FAX:0778-29-3637

福井県子どもNPOセンター、福井県教育庁義務教育課、福井大学東原研究室、
 福井市木田公民館、ノーム自然環境教育研究所、まち工房・演習、
 えちぜん青少年自立援助センター、アルマス・バイオコスモス研究所 (5団体)

18才までの子ども専用電話
 フリーダイヤル 0120-873109
 フリーダイヤル 0120-997777
 ●月曜日~土曜日 16:00~21:00